

国立成育医療研究センター 政策科学研究部  
丸山 菜穂子

【テーマ】

パートナーからの暴力を経験する妊産婦への支援に関する助産師・看護師向け E-learning は、知識の向上と行動変容に有効か。

【タイトル】

パートナーからの暴力を経験する妊産婦への支援に関する助産師・看護師向け E-learning の効果：ランダム化比較試験

【キーワード】

親密なパートナーからの暴力、E-learning、知識、行動変容、助産・看護教育

【リード文】

妊婦への暴力は、深刻な健康被害を及ぼします。医療者は、被害者を早期発見・支援する必要があります。本研究は、親しい間柄の暴力の実態や支援に関する E-learning の、助産師・看護師への効果を検証するために、ランダム化比較試験を行いました。ランダム化比較試験とは、比較したい2つ以上のグループ（本研究の場合は、E-learning を提供する群と提供しない群）に入る対象者をランダムに決める試験です。その結果、E-learning 提供群は知識が向上し、支援に向けた行動が増えることがわかりました。